

目次

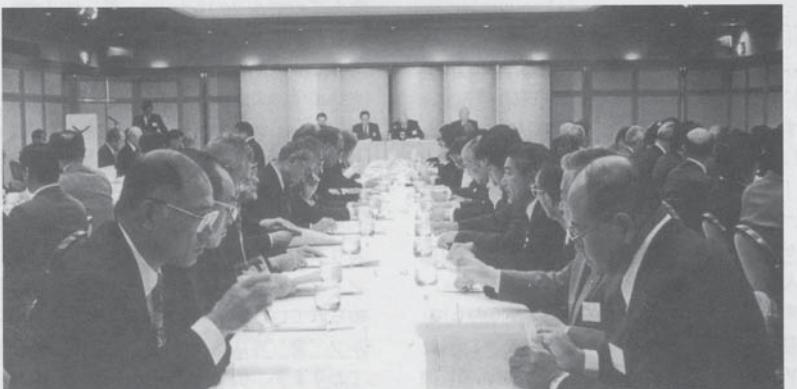
| | |
|--|----|
| 「クラブ」が「俱楽部」である ことの意味を考えよう | 1 |
| ——平成5年度事業報告・平成6年度KGA活動方針—— | |
| ジュニアは春の使者 | 4 |
| 「JGAハンディキャップ」17年の軌跡 | 7 |
| 新規加盟俱楽部紹介 | 11 |
| 総会・常務理事会・理事会・分科委員会 | 14 |
| 月例競技成績表 | 23 |
| お知らせ | 24 |
| 表紙photo セントラルゴルフクラブ (撮影・石川博英/KGA広報委員) | |

 関東ゴルフ連盟

関東ゴルフ連盟 第46回通常総会

“クラブ”が“俱楽部”であることの意味を考えよう

——平成5年度事業報告・平成6年度活動方針——



第46回関東ゴルフ連盟通常総会は318俱楽部が出席して開催された

平成6年2月22日、第46回通常総会が開催されました。席上、細川護貞理事長より次の事業報告、活動方針が示され満場一致で承認されました。

私は第44回、第45回通常総会において、これからのKGAの活動方針として「スポーツ競技団体として、国民スポーツ、生涯スポーツとしてのゴルフの健全な発展に寄与するとともに、ゴルフ界のあらゆることに関知し、事の解決にあたる。またゴルフを通じ社会貢献、国際貢献も積極的に行い、ゴルフ界のステータス、イメージの高揚をはかること」を提案し、皆様のご賛同を得ました。具体的には、

1. 「関東オープン」を通じての社会貢献、国際貢献
1. 農業問題、環境問題への取り組み
1. ジュニア・ゴルファーの育成と指導
1. ゴルファーのマナーの向上

といったことをテーマといたしました。

どのテーマも会員諸氏、ゴルファーの理解と協力なくして達成できないものであります、お陰様でかなりの成果をあげつつあります。

成功したボランティアによる大会運営

先ず、「関東オープン」であります、ご承知のように5年度も国連難民救済と地域福祉団体のためのチャリティ募金を行いましたが、会員諸氏、法人、個人、また大勢のギャラリーのご協力をいただきました。

また、大会運営にあたっては、千葉県ゴルフ協会、千葉県ゴルフ場支配人会の協力を得まして、大勢の研修生諸君の助力をいただき、成功裡に終了することができました。このチャリティートーナメント、ボランティアによる大会運営は、ゴルフ界に多大な影響を及ぼし、アマチュア競技団体の主催する大会開催方式の一つの理想形として注目されております。

経費につきましては、いわば全加盟俱楽部による「分担方式」といたしました。この方式は、KGAの財政状態からやむを得ぬ処置でありまして、さまざまな意見、批判はございましたが、最終的に

—1—

に99%の会員倶楽部にご負担いただきました。

尚、今年度も同様の開催方式をとりますが、7年度以降につきましては、財政基盤の強化と相まって、抜本的に改正すべく、関係委員会において検討を始めております。

自発的・自主的な取組

次に「農業問題、環境問題」への取り組みであります。ご高承のように、一昨年JGAを中心として、「ゴルフ関連団体協議会」が設けられ、その中に「日本芝草研究開発機構」を作りました。目的は、ゴルフ場のコース管理、農業、環境に携わる人々の研修、資格認定試験を行い、その資質向上、人材育成をはかることになりました。

関東ゴルフ連盟は東日本支配人会と協力して、この実施にあたってまいりましたが、このことは、ゴルフ界が自発的、自主的に「農業問題、環境問題」に真摯に取り組んでいくことにはかなりません。

ジュニア育成の重要性

次に「ジュニア・ゴルファーの育成と指導」について報告いたします。

これまでKGAは春休み、夏休みの間に、「ジュニア・ゴルフ・スクール」、「ジュニアゴルフ選手権」を開催してまいりましたが、5年度も大勢の諸君が参加いたしました。献身的に従事いただいた関係諸氏、快くゴルフ場をご提供いただいた開催倶楽部の皆々様に感謝と敬意を表したいと思います。

昨今のサッカーブームの例を見るまでもなく、そのスポーツが健全な発展をとげるには、ジュニア育成と指導を息長く、着実に行なうことが一番の方法であることを痛感しております。

倶楽部は自己研鑽の場

最後に「ゴルファーのマナーの向上」について触れたいと思います。

このテーマはいわば連盟創立以来の大テーマであり、結成目的のひとつであります。生涯スポーツ、国民スポーツとしてのゴルフの健全な発展を目指して、これまで努力を続けてまいりましたが、昨今のゴルフ人口の急激な増加を見るに“遊び”としてのゴルフが先行し、“質”は必ずしもほめられたものではないようです。

“真のゴルファー”育成の場は、倶楽部であると思います。本来、倶楽部とは志しを一つにした同志が集い、文化を語りながら、自己研鑽を積む場であります。そこに独自の文化や伝統が生まれてくるのです。

現在KGAの加盟倶楽部数は457の多くを数えています。その全てが○○ゴルフ倶楽部、○○カントリー倶楽部の名称であり、創立時の理想がこめられていることを象徴しております。現在、ゴルフ“業”界は他業界と同様、“逆境”に置かれています。私はこのような状況は天より与えられた試練の時と考え、今こそ初心に戻って、ゴルフとは何か、真のゴルファーとはどうあるべきか、ゴルフ場、ゴルフ倶楽部とは何か考える必要があると思います。そうすることによって、明日のゴルフ界の展望が開けることになると確信いたします。また、このような時こそゴルフを通じて、社会貢献、国際貢献をなすべきと考えます。

尚、5年度の各委員会の活動状況はお手許の事業報告書のとうりでございます。ボランティア活動いただいた委員、関係者の皆様にあらためて、敬意と謝意を表したいと思います。

立法府と行政府

次に今年度の活動方針を示したいと思います。

今年度も事業報告に触れた四つの事は引き続きテーマとして取り組みますが、6年はさらに次の活動を行ないたいと考えております。

1. 堅固にして強靭な組織作り
 1. 主催競技の新設と充実
 1. KGA厚生年金制度の実施
 1. 財政基盤の強化と財源の確保
- 先ず、第1テーマであります、組織が継続的

に社会環境の変化に適応していく為には主体的に整備、改善に努めなければなりません。

ご承知のようにKGAはJGAを支える最大の地区連盟であります。JGAはいわばゴルフ界の「立法府」とも申すべき組織であり、高らかな理想をかけ、日本ゴルフ界の健全な発展に必要となる諸政策を打ち出します。地区連盟は「行政府」と言えましょう。私たちKGAは、日本ゴルフ界の中核として、理想の実現のために具体的な活動を展開しなければなりません。この活動を的確、かつ円滑に行なうには、堅固にして強靭な組織が必要ですし、また、そのためには執行力を強化しなければなりません。今総会において「規約改正」を提案する目的はここにございます。

だれでも参加できる競技

次に「主催競技の新設と実施について」提言いたします。

現在KGAの、全競技はスクラッチ競技であり、ともすれば加盟倶楽部のいわば、“腕とき”と言いましょうか、一部の特定の会員しか参加いただいているかもしれません。多くの会員、一般ゴルファーにも参加できる主催競技を実施し、国民スポーツ、生涯スポーツとして多くの愛好者が参加できる競技を新設することは、スポーツ競技団体としてのKGAの責務と申せましょう。

具体的には、誰でも参加できる「アンダーハンディキャップ競技」の企画、検討を始めております。

優秀な人材の確保と定着

次に「KGA厚生年金制度の実施」であります。本来この種の事業につきましては、スポーツ競技団体として手をつけることは、いかがなものかとのご意見もございましょうが、すでに関西連盟、中部連盟では実施しております。この制度はゴルフ場に従事する者にとって、まことにありがたいものであり、優秀な人材の確保と定着に大いに寄与するものであります。

創立60周年に向けて

最後に「財政基盤の確立と財源の確保」に触れたいと思います。

のことにつきましては、一昨年、昨年の総会においても提言してまいりました。私は今日のゴルフ界をより充実し、明日のゴルフ界の展望を開くための諸事業を提言してまいりましたが、その実行、実現には連盟の財政基盤の強化と財源確保が必要不可欠であります。また、平成7年は連盟創立60周年にあたります。この年を連盟“飛躍の年”とすべく、ゴルファーと加盟倶楽部のための記念事業、行事を企画実行したいと考えておりますが、今年度はその基礎作りに着手する大事な一年と考えます。

会員諸氏の格段のご協力とご尽力を願うものであります。

(写真・石川博英 広報委員)



事業報告・活動方針を示す細川理事長(右より)古賀副理事長、細川理事長、中井、松浦副理事長

ジュニアは春の使者

文・塩田 正、山田和臣（KGAG広報委員）
写真・舟橋一芳、石川博英（KGAG広報委員）

KGAGに春の訪れを告げるのは、ジュニアである。今年の春季ゴルフ・スクールにも995名（7会場合計）の子供たちが参加した。

また、第7会場のセントラルゴルフクラブでは初めての試みとして“親子スクール”を開催したが、これが大反響で、定員40組をはるかに越えたため急拡、茨城ゴルフ俱楽部でも開催するほどの大好評であった。

平成6年度KGAG春季ジュニア・ゴルフスクールは、3月25日の第1スクール（ノーザンカントリークラブ錦ヶ原ゴルフ場）を皮切りに4月5日の第7スクール（セントラルゴルフクラブ）まで、7会場に分かれ995名の小・中・高校生を集めて行なわれた。

大人が見習ってほしいマナー

第5スクール（3月29日＝東京国際カントリー俱楽部）には、175名のジュニアたちが集まつたが、学習意欲の現われか、集合時間の7時には全員集合といった成績のよさ。7時30分の開会式の後は、



きびしいフォームチェック（東京国際）



班別に整列しての開会式（東京国際）

この175名のジュニアたちが15班に分かれ、それぞれラウンド組、パッティング組、ドライビング・レンジ組に分かれて、プロからの技術指導、ジュニア委員からのエチケット、ルール指導を受けた。

藤井一世ちゃん（原市小2年）、河本 卓君（荏原市小3年）は、ともに最年少受講者だが、二人とも自分の背よりも大きいバックをかつてのラウンドが目につく。そして、二人とも先生が見ていないところでも、自分で切り取ったディポットを丁寧に元に戻すなど、大人も見習いたいような光景が随所に見られた。



ドライビング・レンジでの“飛ばし屋”たち（東京国際）

こうしたジュニアへのエチケットやルールについて、田辺嘉一ジュニア育成副委員長は、「春と夏の開催だけでは教えることに限界を感じるが、洗面所を汚さないとか、目土を入れたり、バンカーをならしたりなど、クラブ・ハウスやコースに対する配慮が自然と身につくように、ラウンドに興味をもたせながら教えていきたいと思っている。」と語っている。

また大久保蕃副委員長も朝の挨拶の中で、「言葉ははきはきと、そして挨拶はきちんと」ということを強調していたが、その言葉通り、受講者のほとんど全員が「こんにちわ」と指導者や関係者に挨拶をかわす。こうした態度を見ているとジュニア育成委員会の目指すエチケットやマナーなどの心得が着実に実ってきているのがわかる。「長い目で、例えばこの子たちが成長して、一人前の社会人ゴルファーになったとき、ジュニア育成スクールで教わったことが生かされれば、その頃のゴルフ界はいまよりもはるかにレベルの高いものになっているのではないか？」

と田辺副委員長はジュニアの受講者にこういった期待をつなぐ。

忘れてほしくない基礎体力作り

もちろん、技術面でもジュニアの目は真剣そのものだ。プロの教えるスイングの基本、実戦での打ち方、パッティングなど食い入るように見つめて、少しでも自分の役に立てようとしている。

こうした真面目なジュニアたちに対して、講師陣の一人、皆木敏生プロ（鳩山CC）は、「いまは



娘のためなら重いバッグもなんのその（セントラル）

下手でも、この年齢の頃に基本をみっちりと身につければ、近い将来、急速に上達するはず。」とグリップやスタンス、それにスイングの基本的レッスンに力を入れる。

ただ、現代っ子のゴルフに対する取組みの弱点もちろん見え隠れすることもたしかだ。その点を指摘するのは、同じく指導陣の一人、岡野雅之（立川国際C.C）プロだ。

「テレビなどの影響かもしれません“スイング”にしても、うわべだけを真似しようという傾向がありますね。もっと基礎体力の育成とか、基本などに目を向けてもらいたいのですね。」

いわれてみれば高学年ジュニアの中には、基礎体力作りのほうを忘れて、ただクラブを振りまわしている人も多い。しかし、こういう傾向も、田辺副委員長の「長い目で教えていく」という趣旨を徹底させることで、そうした基本技術や基礎体力の育成なども、これからどんどん実績を上げていくに違いない。ジュニアの真剣な眼差しが、それを実証しているような気がしてならない。

（塩田）

初めての親子スクール

ゴルフにはご承知の“ワンボール・ツーサム”という楽しみ方があるが、私は夫婦に限って言えば、日本人には不向きな競技方法に思えてならない。

なぜなら、たいてい夫の方が上手で奥さんは下手、勝負事は男が好きで女は駄目——これが日本のゴルフにおける一般的な夫婦関係であるから、奥さんがミスショットしようものなら、まずまち



パパそれではショートだよ（セントラル）

「JGAハンディキャップ」17年の軌跡

出席者 福田 彰 (JGAハンディキャップ委員長)
KGAハンディキャップ顧問)
渡辺満之助 (KGAハンディキャップ委員長)
関屋 道郎 ((株)スカット常務取締役)
佐藤 清 (KGA事務局長)
中静 利修 (KGAハンディキャップ担当)
司 会 宮元 昭雄 (KGA広報副委員長)



左より福田 彰 渡辺満之助 関屋道郎の皆さん

いま、JGAハンディキャップシステムが大きく前進しようとしている。

KGAが開発した、コンピューターによる査定——KGAグリーンシステム——が全地区連盟により注目され、「JGAグリーンシステム」として採り上げられる可能性が出てきた。

実現すれば、「全国同一方式による査定」「いつでも、だれでも、どこででも」取得可能——これこそ関係者が17年間まち望んでいたことだ。

宮元 JGAが現行のハンディキャップ規定を定めたのは昭和53年のことでした。それから17年の歳月が流れましたが、全国的に見ればその足並みは決して一致していないのが実情だと思います。

KGAはいち早くこの方式を受け入れ、コンピューターによるグリーン・システムを採用し、糾余曲折はありましたが、とにもかくにも全加盟俱楽部のうち88パーセントのゴルフ場がJGAシステムを採用実施している。

ものごとを改革するということは、何ごとも時間がかかるわけですが、このハンディキャップ普及一筋にかけてこられた福田さんにまず口火を切っていただきたい。

スタート時の誤算

福田 53年9月のJGA理事会で承認され実施となったわけですが、今想いおこしてみるとわれわれはハンディキャップの精神というものを120%理解していたつもりだし、JGAの役員の多くの人達も同じ基盤に立っていたけれどものと考えてスタートしたわけです。実はそこに一つの誤算があった。それは何かと言うとハンディキャップを名譽段位的な考え方でとらえている人が大ざいいて根

強く支配していたことです。もう少し現実に即して理解を広め、それに対応する動き方をすればよかったです。

コンピューター問題にしてもやれ費用がかかり過ぎるだの、なんだのと、あげくの果にはKGAはコンピューターでひと儲けをしようとしているなど陰口をたたかれたこともあります。

宮元 私もその頃某カントリークラブの委員長をしていましたが、俱楽部内で大もめにもめましてね。採用するまでには大変な苦労をしました。結論から言えばあまりにも唐突な通達だったことが混乱の原因であったように思います。

それでも17年間、うますたゆまず啓蒙促進を続けてきたというのは、福田さんこれは執念ですかね。

福田 執念というより、統一されたハンディキャップでプレーすることがアマチュアゴルフ界の発展につながる唯一の手段であることを基本の思想として、取り組んできました。

渡辺 たしかに時間をかけるべきだったということはその通りだったね。俱楽部によってはハンディキャップ委員会がいらなくなるのではないかという思いがあったことと、単純に機械的に処理するのではないかという短絡的な解釈というか、だから理解しようとしたかった俱楽部も出てきた。

宮元 運用する俱楽部側の実情をもう少し、調査し考慮して指導すべきだった。お役所じゃないのだから一枚の紙切の勧告や通達で済ませるやり方は時代錯誤もはなはだしいと思ったものです。もちろんこの問題だけじゃなく、全てのことに言えるわけだが。

ところで渡辺委員長、全国の事務局長会議で、KGAが研究開発を進めてきた新しいグリーン・シ

がいなく口喧嘩がおっぱじまる。極端な場合はラウンド途中で NRなんて事態になる。

その点、「親子」はちがう。この競技方法の精神——二人が協力、協調し助け合ってホールアウトする——が見事に生かされる。

私がなぜこのようなことをクドクド書きつらぬかと言うと、今回が初めての試みである「KGA “親子” ゴルフスクール」を見ているうちに、個人競技の最たるゴルフも、親子でならば理想のチーム・プレーも可能と思えたからだ。

この日、セントラルには37組の親子が集まった。小学校2年生から高校3年生まで、まちまちの親子であったが、どの組も春休み最後の休日をペアでプレーできる喜びにあふれていた。

一見したところ、親はみんな“個性的なスイング”的主であり、“月一ゴルファー”と見た。子どもの方がはるかにきちんとしたフォームである。

汗はビッショリ、体はグッタリ

それと、あくまでスクールであり、それも“親子”と名しているものの主体は子どもであるから、全員セルフバッグでのラウンドであり、目土袋を持ってもらう。普段のレジャーとしてのゴルフとはいささか趣きがちがう。数ホールで汗ビッショリ、体グッタリの親御さんもいた。“いやあ、ゴルフがこんなにキツイスポーツとは思ってもいなかつた”と正直に語ってくれる父親もいた。



親子スクールならではのすてきな笑顔（セントラル）

よう。あと40組ですか？茨城ゴルフ俱楽部のご無理にお願いして、そちらに廻わっていただきました。しかしよくよく考えてみれば、日本のゴルフ環境が劣悪であることの証明みたいなもので、手ばなしでは喜べませんね。夏には、親子スクール専用会場を用意するつもりです。」

と語ってくれた。

たしかに、親子で11,000円というKGAならではの参加費の安さ、それに日本オープン、関東オープンの名舞台となったセントラルとなれば、申込みが殺到するのは当然だったと言えよう。

そして、KGAが全ゴルファーのための組織であることを証明した有意義な試みであったと思う。

(山田)

平成6年度 KGA春季ジュニア・ゴルフスクール

| 俱楽部 | 日付 | 定員 | 申込人数 | 受付人数 | 欠席(内無断) | 参加者 | 委員 | 男子プロ | 女子プロ |
|------------|----------|-------|-------|-------|---------|-------|----|------|------|
| ノーザン錦(27H) | 3月25日(金) | 250 | 186 | 185 | 25 | 160 | 17 | 16 | 4 |
| 我孫子(18H) | 3月28日(月) | 150 | 170 | 177 | 13 | 164 | 11 | 12 | 3 |
| 茨城(18H) | 3月28日(月) | 150 | 87 | 77 | 4(1) | 73 | 10 | 12 | 3 |
| 親子 | 〃 | | | 46 | 4 | 42 | | | |
| 桜ヶ丘(18H) | 3月28日(月) | 150 | 191 | 184 | 16(2) | 168 | 13 | 12 | 3 |
| 東京国際(18H) | 3月29日(火) | 150 | 199 | 185 | 13 | 175 | 8 | 12 | 3 |
| 若州(18H) | 3月29日(火) | 150 | 111 | 99 | 8 | 91 | 14 | 12 | 3 |
| セントラル(36H) | 4月5日(火) | 100 | 132 | 130 | 24(4) | 106 | 10 | 17 | 3 |
| 親子 | 〃 | 50 | 166 | 80 | 6 | 74 | | | |
| 合計 | | 1,150 | 1,242 | 1,163 | 113(7) | 1,053 | 83 | 93 | 22 |

セントラル高ゴ連大会参加者 162名

ステムが話題になり、地区連盟の一部でも採用に踏み切りたい意向を示していると聞きましたが。

渡辺 これまでもJGAハンディキャップ委員会として充分な理解が得られるよう努力してきたが正直のところ反応はいまひとつだった。ところが事務局会議で一挙に注目を集めたわけです。

宮元 それは大変すばらしいことだ。

渡辺 大げさに言えば、ハンディキャップ思想が一大転換期を迎えたと言ってもさしつかえない。非常に期待しています。

宮元 ところで、KGAは実施率88%ということが、具体的な内容はどうなんでしょう。おかしな倂樂部もあるわけでしょう？

渡辺 連盟は平成2年に入会規則を定め加盟条件にJGAのハンディキャップシステムを採用することとした。だから新規加盟倂樂部はさほど問題ない。頭の痛いのはむしろ歴史のある倂樂部。例えばグランドシニアの申込書を見ると、80歳にしてハンディキャップが2だと76歳で0なんて人がいる。全国的にもこうしたケースはかなりあるのではないかと思います。私たち委員のこれから任務は、内容チェックと指導が重要になっている。

宮元 ところで、平成7年は、連盟創立60周年にあたるとか。いろいろ事業計画を考えるとのことです、ハンディキャップ関係では、どんなことか具体的に検討されてますか。

渡辺 福田委員長時代から、主張しつづけているのだが、できることなら査定料は無料としたい。新グリーンシステムの完成により、これまで以上のスピードアップ、合理的処理が可能となった。そして究極は全国統一方式による査定。そのための財源問題は常務理事会、理事会で目下検討中です。

宮元 ここで一寸話が横道にそれるが、2年越しの年会費問題はどうなっています。7年度より入場者割になることは決定していると聞いています。

佐藤 6年4月の常務理事会、理事会にて決議いただきました。具体的には平成7年度より年会費は一律5万円とし、入場者の皆さんには、KGA



●福田 彰氏



●渡辺満之助氏

ゴルフ振興金の名目で20円ご負担いただく。この振興金を加盟倂樂部にて徴収いただき、預かり金としてKGAに納付いただく。もちろんお預かりした振興金は、加盟倂樂部、全ゴルファーに事業として還元する。ハンディキャップの無料査定もその一つです。ただこれからが問題でして、このことを全倂樂部にきちんと理解していただき、ご協力いただくには、各都県の理事の皆様に労をおとりいただきしかねない。なにしろ、ご承知の不況なので例え20円でも値上げにつながることはできない、したくないといった声があることですし……。

宮元 そうなんだ、大半のゴルフ場が株式会社であるから、戦後最悪の不況下で、大変な苦労をしている。そこをまず理解して事をすすめないと、えらいことになる。しかし、考え方によっては、倂樂部負担が5万円となるわけだから、大巾幅下げと言える。そうなるとつまり一般ゴルファーに振興金の主旨をきちんと納得いただくことが必要だ。その点、今度は常務理事としての福田さんどう思いますか。

誰でも参加できる競技の新設

福田 要は、これまでのJGA、KGAの存在が一般ゴルファーには無縁であったことだと思う。だから、KGAとして平成7年を再出発の年とし、一般ゴルファーにも有意義な組織であることを認識していただくための諸事業を実行しなければならない。ハンディキャップの無料化はぜひ実現したいし念願のアンダーハンディ競技も7年から開催したいものだ。基本的にKGAはスポーツ競技団体なのだから主催競技の充実、誰でも参加できる競技の開催、それを実行可とするのがハンディキャップ、コースレートなのだ。

渡辺 アンダーハンディの競技となれば加盟倂樂部の会員であれば誰でも出場できる。但し、JGAハンディキャップを有することが、基本条件となるが、具体的な実施要項は競技委員会とハンディキャップ委員会で検討を開始している。

宮元 出たい会員がJGAハンディキャップがないため出場できないということになると、倂樂部では当然問題になる。佐藤 「なぜうちはJGAハンディをやらないのか」と現実には突き上げられている倂樂部もあると聞いています。

福田 オーナーや理事長のゴルフ観、姿勢がハンディキャップに限らず、反映される。17年かかってやっとここまで漕ぎつけたというが、私の理想とするところはどうにか先が見えたとは言うものの目標は全国統一方式、そのためにもうひとふんぱりしなくちゃならない。協力して下さい。

宮元 スタット社の関屋さんに伺いますが今度開発された新しいグリーンシステムの開発期間はどのくらいでした。

関屋 ちょうど丸2年かかりました。

佐藤 ただ私に言わせれば、日進月歩のコンピューター時代にこれまで何ら改善改良に手をつけてこなかったわけで、これはKGAとスタットの責任ですね。また、ハンディキャップは本来ひとりひとりのプレーヤーの自覚の問題でして、たとえばプレーごとにスコアの良し悪しにかかわらず提出する、変更になつたら、ただちに所属倂樂部に連絡してほしい。

福田 ゴルファーは自分から申告するという義務がある。ハンディキャップの変更もそうだが、ホームクラブが変わったら変わったで連絡をするべきだ。それが、マナーというもののじゃないかな。

渡辺 登録があったとはいえ実際にはだぶっている者もいれば他界したりして内容的に整理するときにはきています。

そこで連盟としても、登録者の有効期限を切ることで検討している。一応の目安は3年間ということで、3年間に一枚のカードも出でない人はすべて機械から抹消するという方向でやっています。

ただはっきり言えることはどんな機能をもつ機械が開発されたとしても、倂樂部のハンディキャップ委員会の存在は重要でありまた必要だ。委員会がこの新グリーン・システムを活用しなければ



●関屋道郎氏



●宮元昭雄氏

宝の持ちぐされになる。その具体的な活用方法を大いにPRしたいと考えている。

宮元 おっしゃる通り倂樂部委員会活動の重要性は不变です。ところでKGAグリーンシステムからJGAグリーン・システムという形で移行することになりそうと聞いています。がもう少し具体的に説明して下さい。

理想はJGAグリーンシステム

佐藤 1月28日のJGAハンディキャップ委員会と、3月1日の局長会議で、新グリーンシステムのデモンストレーションを行いました。皆さん大変興味と関心をもっててくれましてね。そこで、KGAとしてはキザに言えば、日本ゴルフ界のため、生涯スポーツ、国民スポーツとしてのゴルフの発展のため、大いに活用してほしい旨をアピールしたわけです。四国連盟からは6月に全倂樂部集めるから説明に来てほしいという申し出がとどいています。ただ筋張って言えば、この開発費用はKGA加盟倂樂部の皆さんからちょうどいい年会費でまかなってきたわけで、JGA、KGAともきちんと機関決定していただく必要がある。そのことを、福田JGA委員長、渡辺KGA委員長にお願いしているわけです。

渡辺 スタットとの共同開発だから勝手には動けない。KGAが四国にいくよといえばハイ、一緒に行きますとスタットは当然言うことをきく。そこまでやってきたということだね、だからJGAとして、KGAにきちんと依頼すべきことではありますね。

福田 JGAとしても重要なことだし、近々の委員会で方向づけを明確にする。KGAに「よろしく」と頭を下げに来ますよ。(笑)

勿論JGAの結論の出でないことを先走っては出来ないが、それぞれの関係者が長い間苦労してきたことは私が一番よく知っているので、何とかしてもJGAグリーンシステムとしたい。ただ大事なことは倂樂部のリーダーがハンディキャップの精神とは何ぞやということをきちんと理解して貢うことでないと幾らコンピューターが進んだとし

ても中途半端になってしまう恐れがある。かえってその方が恐ろしいよ。

宮元 その通りですね。もう一言付け加えれば、いくら委員会が云々といったところで直接関与するのは事務局なのだからJGAとしても、専任者をつけることが必要になる。

ところで中静君、あなたはハンディキャップに関しては、いわばKGAの窓口的役割りを果たしている人だが、最近新しいシステムについて会員の関心はどうですか。

中静 問い合わせはかなり頻繁にありますね。プレーヤーが昔に比べてハンディキャップについて非常に詳しくなっていますし、その必要性を感じている人が多くなっていると思いますね。

宮元 それは倶楽部からですかそれとも個人から?

中静 個人もかなりあります。ハンディキャップに関して倶楽部の方が明確に答えられないということがあるのでしょうか。結論を先にKGAに求めてくるというケースが多いように思えます。

宮元 関心をもって問い合わせてくることは大変結構なことだと思うね。ところで新システムに関しては。

中静 最近になってとくに多くなってきましたね。佐藤 新システムはハンディキャップだけに使用するのではなく、多目的な活用というメリットもすでに知っている倶楽部もありますので。

宮元 関屋さん、スタッフと連盟の共同開発で苦労した結果どうにか陽の目をみるところまでやってきましたが、システムの概念についてひとことお願いします。

■コンピューターはツール以外の何物でもない■

関屋 17年前にコンピューターを使って査定の一元化をはかったということは方法論として素晴らしいことだと思います。一般の会社の組織でも人事査定というのがあり、一人の人間が全体を査定しないとバラツキが出ます。例えば特定の1人を3人の者が別々に査定するだけで大きな違いが生じるものです。

宮元 主觀の差が出るということ。

関屋 その通りですね。ハンディキャップシステ

ムも同じと考えます。冷徹に私情を挟まないでルールに従って決められればよいがなかなかそうはいかない。その意味でコンピューターはツールとして一番すぐれているわけです。

渡辺 自社コンにJGAの計算方式をのせることは簡単だが、じゃその方式だからJGAハンディキャップかというと必ずしもそうでない。例えばコースレートの変わるゴルフ場は年間結構あるわけでそのデータを入れないと、いけないわけで自社コンでは無理なんだ。

宮元 すべてが日進月歩の変化の時代ですからより科学的にスピード化され処理されることを望ましいし、使う側にとっても出来るだけ合理的でかつ金がかかなくて済むというのであればいうことなしだ。

佐藤 それと、このシステムは単にハンディキャップ処理だけでなく多目的な使用、例えば、競技の申込、電子メールといった加盟倶楽部と連盟間がより密接に情報交換できることと考えて設計されている。

渡辺 これがJGAのグリーン・システムとして採用いただくことが実現すれば17年間の苦労も実るということになる。

福田 ただくどいようだが倶楽部が一台づつパソコンを置けばよいという考えではなく、あくまでもメソットであってオブジェクトじゃないことを忘れないでほしい。大切なのはハンディキャップの本質を理解してもらうことなんだ。

宮元 個々の倶楽部に経済負担を直接かけないで、連盟がすべて無償でしていく。これには連盟の財源、財政基盤の強化確立がどうしても必要となる。ところで、

平成7年はKGA創立60周年の輝かしい記念すべき年ですね。この年を飛躍の年と細川理事長は言われた。

その意味で、今年は重要な一年となる。お話しを聞いていたいハンディキャップだけでなく、KGA、JGAのかかえている諸問題の解決、それに加盟倶楽部、ゴルファーにとって真に役に立つ諸事業を企画、実行したいものです。それを今日の結論とさせていただきます。

ゴルフ倶楽部 セブンレイクス



1. 倶楽部名 ゴルフ倶楽部 セブンレイクス
住 所 茨城県那珂郡大宮町北塙子533-47
電 話 02955-3-4111

2. 開場年月日 平成1年9月30日

3. 理事長名 笠井麗資(S6.4.22)

俱楽部代表者 笠井麗資

4. 倶楽部分科委員長名

競技・ルール委員長 伊井康雄

ハンディキャップ委員長 小野吉男

コース委員長 佐々木義三

ハウス委員長 福地厚二郎

キャディ委員長 内藤勝次

エチケット委員長 矢数 浩

5. 支配人名 伊藤四郎(T14.5.1)

6. 倶楽部概要

当倶楽部は、全27ホール・9,460ヤードの規模を誇り、常磐自動車道・那珂ICより約20分のなだらかな丘陵に位置しています。この地域は、特に岩の多い地質ですが地形はフラットでゴルフ場には最適の地域と言えるでしょう。

コース設計は現代を代表する加藤俊輔氏によるもので、7つの美しい池と既存の岩石群を巧みに配した設計は、まさに戦略性に富んだアメリカンスタイル。さらに、伝統的なスコットランド風リンクスムードを融合させた、国内でも非常にめずらしいコースレイアウトとして好評をよんでいます。

コースは、レイクコース(18H)とスカイコース(9H)に別れ、その中でもレイクコース・アウ

ト5番ホールは日本初の「ロッキー・ハザード」が体験できる名物ホールです。2メートルを越す岩石群がティーグラウンドから約110ヤードにわたって広がり、プレーヤーにかなりのプレッシャーを与えます。その他、各コースのあがりホールには当倶楽部のシンボルである、美しく大きな池が待ち受けており、クラブハウスを背景に素晴らしい景観が楽しめます。

クラブハウスは、屋根を4枚の葉に見立て「4つ葉のクローバー」をイメージして設計され、建物内は機能性・快適性を追及したモダン感覚溢れるシンプルなデザインです。

その中で全ホールを眺望できる最適の場所にレストランがあります。フカヒレを贅沢に使った「特製ラーメン」や、最高の器と味にこだわった「松花堂弁当」などは特に人気のメニューです。

そして、当倶楽部のもう一つの自慢は、造成中に涌き出た温泉をそのまま生かした大浴場です。「白谷温泉」と名付けたその泉質は、アルカリ性単純温泉で、神經痛・筋肉痛・冷え性などに効果があり、きっと、プレーヤーの疲れを芯から癒してくれることでしょう。

イーストウッドカントリー倶楽部



1. 倶楽部名 イーストウッドカントリー倶楽部
住 所 栃木県河内郡上河内村大字冬室10393
電 話 0286-74-2222

2. 開場年月日 平成4年10月4日

3. 理事長名 伊藤 正(T11.1.6)

新規加盟倶楽部紹介

倶楽部代表者 伊藤 正 森田俊彦

4. 倶楽部分科委員長

エチケット・フェローシップ委員長 善利博臣

競技委員長 形野春雄

ハンディキャップ委員長 関口快流

コース委員長 石崎肇士

5. 支配人名 井上 仁一郎(S16.7.15)

6. 倶楽部概要

当俱楽部は栃木県宇都宮市北部に隣接し東北自動車道宇都宮ICから約11km、車で約15分、東北新幹線JR宇都宮駅からは送迎バス約35分で到着する。

コース総面積は約107万m²（約33万坪）で高低差は殆どなく自然樹林に囲まれた雄大な土地に、18ホール、6,854ヤード、パー72のオーソドックスながら戦略性に富んだ個性的なコースである。

コース設計は、世界中に130余のゴルフ場設計を手掛けた豊かな才能の持主、ロバート・トレント・ジョーンズ2世が「あらゆる名門ゴルフコースが兼ね備えるゴルフプレイの真価とコースの美の絶妙なコンビネーションを造りあげる」ことを基本理念として設計されただけに、見事に自然と調和し、アマチュアからプロまで、どのようなレベルのゴルファーでも挑戦意欲をかきたてるような構成となっている。

アウトコースは、さまざまな眺望を備えた高台でのプレイが楽しめる。一見フラットだが、フェアウェイは微妙なアンジュレーションを持ち爽快なゴルフが満喫できる。なかでもグリーンまわりが12個のバンカーチームに囲まれて、思わず息を呑む8番ロングホールも名物ホールの一つだ。

インコースは池が巧みに配されたコースで正確性が要求される。特に13番は最も長い右ドッグレッグのロングホールで、バンカーと池に挟まれた2段グリーンは挑戦意欲をかきたてるものがある。

俱楽部ハウスは約5,600m²（約1700坪）で大きな屋根を特徴とし、地域の名産である大谷石を使用し伝統建築を思わせるシックな外観を呈している。また内部は自然木を使用し、家具調度品は総て欧洲から取り寄せたものでクラシックな雰囲気を醸し出し、ゆとりのある空間は快適なくつろぎを与えるよう演出されている。更に女性ゴルファーにも配慮されたロッカールームや浴場も好評である。

ちなみにハウス浴場は「上河内温泉」として栃木県温泉協会に登録されたコース内掘削のれっきとした温泉となっている。



1. 倶楽部名 米原カントリークラブ

住 所 千葉県市原市米原1639-1

電 話 0436-89-2811

2. 開場年月日 平成元年11月3日

3. 理事長名 玉置正和(S2.4.10)

俱楽部代表者名 玉置正和 奈良忠則

4. 倂楽部分科委員長名

総務委員長 奈良忠則

競技・ハンディキャップ委員長 小林利雄

エチケット・フェローシップ委員長 橋本照雄

プロ・キャディ委員長 奈良忠則

5. 支配人名 池上清一(S6.5.9)

6. 倂楽部概要

千葉県中央部に位置し、都心からは京葉道路千葉南ICから約50分で到着。平成7年度の京葉道路延長工事完了により村上ICから30分のアクセスとなる。更に平成9年度には、東京湾横断道路の開通により首都圏コースともいえる好立地となる。

コースは、小林光昭氏の設計により、温暖な房総の丘陵地に広がる総面積132万m²（40万坪）という広大な敷地に、そのコンセプトである「最高のチャレンジスピリットを引き出せるコース」を

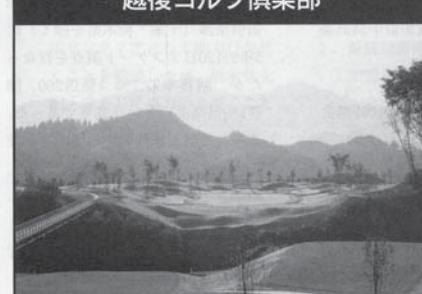
完璧なまでに具現したという自信作。

池と随所に設けられたバンカーが効果的で非常に戦略性が高く、ティーグラウンドは平均でも5カ所ずつあり、ペントのワングリーンもアンジュレーションがある。特に18番はファニッシングホールにふさわしく、危険性をはらんだスリーリングなホールで、左側に広大な池が横たわる第1打の落とし場所にちょうど内湾のように喰い込んでいる。そこを越えてイーグルチャンスか、池を避けて右サイドにかわして手堅くパー狙いか、水面に映る青空と雲のコントラストが、プレーヤーのチャレンジスピリットをかきたてます。

地上3階、地下1階のクラブハウスは、豪華な回廊を有する南欧スペイン風。3階のレストランからは、眼下に7、8、9番の名物ホールを俯瞰し、房総の山並みの彼方には富士山が望め、心安らぐ壮大なパノラマを堪能できます。さらに、クラブハウスの脇にはスペインの村落を彷彿させるようにロッヂ「ビラ・アンダルシア」が建ち並び、スペニッシュゾーンを一段と優美に演出しています。

重厚でありながらもエレガントな香りが漂うクラブハウスはプレーヤーにとって、快適な余暇を存分に味わっていただけるスペースとなっています。

越後ゴルフ俱楽部



1. 倂楽部名 越後ゴルフ俱楽部(奥只見道光高原コース)

住 所 新潟県北魚沼郡広神村大字東中785

電 話 02579-9-3711

2. 開場年月日 平成4年9月12日

3. 理事長名 高橋國一郎(T10.8.2)

俱楽部代表者 高橋國一郎 大塙丑男

4. 倂楽部分科委員長名

ハンディキャップ委員長 森橋 至

競技委員長 大島満房

コース委員長 間野眞光

フェローシップ委員長 岩川宗弘

5. 支配人名 高橋正明(S9.1.26)

6. 倂楽部概要

当俱楽部は越後三山の全容を間近に望み、清流魚野川を見渡す道光高原に平成4年秋完成した。

交通は関越自動車道小出ICから20分、上越新幹線浦佐駅から25分と主要機関とのアクセスが良く、首都圏からも新潟からも日帰りのプレーが可能である。また隣接の大湯温泉や湯沢温泉、奥只見湖などとの複合の滞在型レジャーにも好適地である。

コースは海拔約300mに位置し、広々としたフラットな地形と全長7,210ヤードの充分な距離を持った高原のチャンピオンコースである。

アウトコースは全体にフラットで距離の長いホールが多い。フェアウェイには意図的にアンジュレーションがつけられ、ラフはマウンドが続く。距離の克服が最大の課題となるが7、8番の谷越え、特に8番（234ヤード-BT、パー3）の豪快なショートホールがスコアのカギとなる。

インコースはアウトより高い位置にあり、その眺望は更に見事さを増す。また地形も厳しさを増す為、「打ち上げ」「打ち下ろし」と起伏に合ったショットが要求される。インコースの名物ホールは15番（351ヤード-BT、パー4）、第2打地点より急な下り坂でグリーンの前後は池でガッチャリとガードされている。ここでも正確な距離感が重要となる。

グリーンは18ホールとも充分な広さを持つペントのワングリーンでアンジュレーションが効果的につけられ、パッティングの高度な技術の見せ場となっている。

クラブハウスは周りの自然とのマッチングを第一に、華美に陥らぬよう『白と木目』を基調に設計され、清潔感のある仕上がりとなっている。

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

第46回通常総会議事録

日 時 平成6年2月22日(火)10時30分
場 所 ホテルニューオータニ 悠の間
連盟規約により、細川理事長定刻議長席につき、本日の総会は加盟457俱楽部中、委任状を併せて318俱楽部の出席となり、総会は適法に成立の旨報告の後、開会を宣した。

—決議事項—

第1号議案

「平成5年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件」

細川議長より事業報告、ならびに佐藤事務局長より決算報告、岩本監事より、監査報告があり、原案どうり承認された。

第2号議案

「平成6年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件」

議長の指名により中井副理事長より予算編成の基本方針を説明、佐藤事務局長具体案を説明、原案どうり承認された。

第3号議案

「(財)日本ゴルフ協会平成5年度事業報告、および決算報告、ならびに平成6年度事業計画、および予算に関する件」

議長の指名により、佐藤事務局長次記報告を行い承認された。

「6年度事業計画、および予算は、平成5年12月14日のJGA理事会において承認され、すでに加盟俱楽部に送付済である。5年度事業報告、ならびに決算については、平成6年2月25日開催されるJGA理事会において審議承認される予定である。」

第4号議案

「連盟規約改正の件」
議長の指名により、松浦規約改正

委員長、改正基本方針、および審議経過を説明、ならびに配布された改正条項案を基に審議し、原案通り満場一致にて承認された。

以上をもって、総会の議事を終了、細川議長11時30分閉会を宣した。

平成6年2月22日

議事録確認署名者

署名者 議長 細川謙貞(印)
〃 副理長 中井文治(印)
〃 監事 岩本 勇(印)

*添付資料

1. 細川理事長平成5年度事業報告、及び平成6年度事業計画
2. 規約改正基本方針、及び改正条項

平成5年度 第3回常務理事会 議事録

日 時 平成6年1月25日(火) 10時
場 所 ホテルニューオータニ 横の間

出席者 細川理事長

中井、古賀、松浦各副理事長
相山、福田、北村、古茶、小宮山、松野、蜜沢、鍋島、斎藤、田中、内田、渡邊各常務理事

河尻理事(新規加盟申請俱楽部推薦理事)

細川理事長議長となり、午前10時開会を宣し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 新規加盟申請俱楽部入会審査の件

①1月25日現在、申請のあった次記俱楽部の入会について、慎重審議の結果、これを承認した。

米原カントリークラブ(千葉県)
これによって加盟総俱楽部数は463俱楽部となった。

2. (財)日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

1月25日現在申請のあった高橋良樹氏他3名について審議の結果、これを承認し、(財)日本ゴルフ協会に届けを提出することとした。

尚、JGA会員制度の変更に伴い、6年1月1日より普通会員と称していたものが個人会員となることの報告、説明が中井副理事長よりなされた。

3. 平成5年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成6年度一般会計・特別会計予算案に関する件
松浦財務担当副理事長の指示により事務局長、詳細に報告説明を行い、審議の結果これを承認した。

4. 連盟規約改正の件
平成5年12月22日の第2回常務理事会にて承認された標題の件のうち、第6条(準会員制度)、及び施行日については、下記のように決議した。

①準会員の権利義務等については、関係委員会にて検討審議し、準会員規定等の具体案を策定し、常務理事会において決定する。

したがって、第6条の施行日は準会員規定制定後とする。
②他の改正条項の施行日は平成6年2月23日とする。

5. 企業年金の件

総務・財務委員会にて検討を行い加盟俱楽部(千葉・栃木県を除く)に5年9月20日アンケート調査を行なったが、回答率72.7% (発送260、回答189俱楽部) という高率であった。

このことは、本件について関心、及び必要性の高いことを物語っており、KGAとして実施することを決議した。また、具体案については、ひきつづき総務・財務委員会において行うこととした。

6. 第46回総会に関する件

中井副理事長より次記提案がなされ、これを決議した。
①開催日、及び会場
平成6年2月22日(火)午前10時30分
ホテルニューオータニ 悠の間

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

②審議事項

第1号議案

平成5年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

第2号議案

平成6年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件

第3号議案

(財)日本ゴルフ協会平成5年度事業報告、及び決算報告、ならびに平成6年度事業計画、および予算に関する件

第4号議案

連盟規約改正の件

7. 報告事項

①平成6年度関東オープン開催方式の件

尾閑準備委員長欠席のため、事務局長より次記報告がなされ、これを確認した。

・平成6年度も5年度と同じ、開催方式とする。また、開催県の経費負担については、1月13日の栃木県ゴルフ場協議会理事会に、尾閑委員長、事務局長が陪席し、説明要請を行い、ご承認いただいた。

また、大会運営には、研修生によるボランティアとして助力いただくことを要望したが、栃木県支配人会として協力いただくこととなった。

②棚倉田舎俱楽部他5俱楽部退会の件

KGA所轄1都10県以外の加盟5俱楽部についてはJGAの決定したがい退会を勧奨することとした。

吾妻高原ゴルフクラブ、白河高原カントリークラブ、棚倉田舎俱楽部、民報コース(以上福島県、退会届受理済)

小樽カントリー俱楽部

③真里谷カントリー俱楽部の件

平成4年3月会社更生法の適用を申請された真里谷カントリー俱楽部

は、平成5年度KGA、JGA年会費未納につき、規約第12条に従い除名処分にあたるもの、その後の事態を調査し、藤井英男弁護士(JGA顧問弁護士)に相談し、しきるべき処置をとることを確認した。

以上をもって議題審議を終了、細川議長11時50分閉会を宣した。

平成6年度 第1回常務理事会 議事録

日 時 平成6年4月4日(月) 正午

場 所 ホテル国際観光 梅の間

出席者 中井、古賀、松浦各副理事長
福田、北村、古茶、小宮山、松野、尾閑、滝沢、玉井、内田、渡邊各常務理事
横山理事(新規加盟申請俱楽部推薦理事)

細川理事長欠席のため、中井副理事長議長を務め、午後12時30分開会を宣し、順次議題審議を行った。

—討議及び決議事項—

1. 新規加盟申請俱楽部入会審査の件

①加盟申請のあった下記2俱楽部の入会を慎重に審議の結果、これを承認した。

越後ゴルフ俱楽部(新潟県)
サミットゴルフクラブ(茨城県)
以上2俱楽部の加盟により加盟総俱楽部数は459俱楽部となった。

2. (財)日本ゴルフ協会個人会員入会審査の件

4月4日現在申請のあった佐伯篤朗氏他60名の入会を承認し、(財)日本ゴルフ協会への申請を承認した。

3. 平成7年度以降の年会費について
審議に先立ち、平成4年12月10日に

開催された平成4年度第3回常務理事会、第2回理事会において決議された議事録に基づく各項目の再確認を行った。

次に、事務局が試算した平成7年度収支予算に基づいて、年会費徴収方法、および金額について次記提案がなされた。

・年会費としては、加盟俱楽部一律5万円とする。

・入場者割については次記3案が提案された。

①入場者割を20円とし、JGA納付金はKGA負担とする。

②入場者割を20円とし、JGA年会費については現行通り、各俱楽部負担とする。

③入場者割を15円とし、JGA年会費については現行通り、各俱楽部負担とする。
上記3案をめぐって、1時間30分にわたり活発な討論がなされ、第2案を採択することが決議された。

次に入場者に負担いただく20円は、

①KGAゴルフ振興金として負担いただく。

したがって、各俱楽部においてはこの旨を明示して徴収し、預かり金として処理すること。

②剩余金については、将来的活動に備えて積立金処理とする。

具体的には準会員として加盟してくれる各都県ゴルフ協会への助成金

(国体正式種目としてのゴルフ競技参加に対するもの等) 交付も考慮する。

③徴収をお願いした加盟俱楽部、または支配人会への一定額の還付も考慮する。

以上を承認可決した。

4. 平成7年度以降の「関東オープン」開催について

第3号議案討論において、標記の件に關しまささまの質疑、論議がなさ

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

れたが、
・平成7年度以降も継続して開催するも、開催方式については抜本的改正を行うべく関係委員会にて検討審議する。
以上を決議した。

5. 企業年金について
①主幹事は朝日生命保険相互会社とする。
②設立準備委員長は今後3副理事長協議の上、指名、委嘱する。
以上を承認、可決した。

6. その他
内田常務理事より下記要請があつた。
神奈川県は体協会員としてJGAに加盟したが、現在神奈川県体に向かって努力中である。また、首都東京にアマチュアゴルフ団体が無いことは今後の全国体協活動において影響が大きく、については、KGA事務局と東京都関係者においてゴルフ協会設立のための労を取ってほしい。

以上の要請に対し、全常務理事これを了承、確認した。
・規約改正に基づき、準会員制度を設けることとなったが、その権利義務等については、早急に総務・財務委員会にて検討審議することを確認した。

以上をもって、議題審議を終了し、理事会に報告、承認を求ることとした。
また、中井副理事長より、決議した第3号議事については、各都県常務理事、理事各位が責任をもって該当県における周知徹底方を計ってほしい旨の要請がなされ、全常務理事これを確認した。

以上をもって議題審議を終了し、中井議長1時55分閉会を宣した。

平成6年4月4日

議事録確認署名者

署名者 中井 文治 (印)
渡邊満之助 (印)

平成5年度 第2回理事会議事録

日 時 平成6年1月25日(火) 正午
場 所 ホテルニューオータニ 悅の間
出席者 細川理事長
中井、古賀、松浦各副理事長
相山、福田、北村、古茶、小宮山、松野、密沢、鍋島、斎藤、田中、内田、渡邊各常務理事
海老原、福田、福嶋、藤原、平山、広中、人見、神場、河西、加藤、河尻、紅露、楠本、桑原、前田、前川、盛川、中島、南学、鬼沢、大地、太田、大坪、芝本、塚本、安、横山、吉田、吉岡各理事
岩本監事
細川理事長、議長となり開会を宣し、順次議題審議を行った。

— 討議及び決議事項 —

1. 平成5年度一般会計・特別会計決算案、ならびに平成6年度一般会計・特別会計予算案に関する件

松浦財務担当副理事長の指示により事務局長、詳細に報告説明を行い、審議の結果これを承認した。

2. 平成6年度分科委員選任の件

中井副理事長より次記報告、提案がなされこれを承認した。
・平成6年度は役員、理事任期中であり、分科委員も留任を原則とする。但し、補充交替の必要ある場合は6年2月10日まで所定用紙に記入の上提出されたい。(用紙は全理事に送付済)

3. 連盟規約改正の件

松浦規約改正委員長より、改正基本方針、及びこれまでの討議経過が述

べられ、次いで事務局長、逐条にわたり改正案の説明をした。
質疑応答の後、満場一致でこれを承認し、総会に上程することを決議した。

4. 企業年金の件

総務・財務委員会にて検討を行い加盟俱楽部(千葉・栃木を除く)に5年9月20日アンケート調査を行なったが、回答率72.7% (発送260、回答189俱楽部)という高率であった。このことは、本件について関心、及び必要性の高いことを物語っており、KGAとして実施することを決議した。また、具体案については、ひきづき総務・財務委員会において行うこととした。

5. 第46回総会に関する件

中井副理事長より次記提案がなされ、これを決議した。

①開催日、及び会場

平成6年2月22日(火)午前10時30分
ホテルニューオータニ 悅の間

②審議事項

第1号議案

平成5年度事業報告、ならびに一般会計・特別会計決算の承認を求める件

第2号議案

平成6年度事業計画、ならびに一般会計・特別会計予算案の承認を求める件

第3号議案

(財)日本ゴルフ協会平成5年度事業報告、及び決算報告、ならびに平成6年度事業計画、および予算に関する件

第4号議案

連盟規約改正の件

6. 報告事項
第2回常務理事会(平成5年12月22日)、及び第3回常務理事会(平成6年1月25日)において決議された次記事項について事務局長が報告を行ない、これを確認した。

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

①新規加盟俱楽部の件

1月25日現在、加盟申請のあった次記俱楽部の入会審査を常務理事会(第3回、1月25日)において行い、これを承認した。

米原カントリークラブ(千葉県)
これによって加盟総俱楽部数は463俱楽部となった。

は、平成5年度KGA、JGA年会費未納につき、規約第12条に従い除名処分にあたるもの、その後の事態を調査し、藤井英男弁護士(JGA顧問弁護士)に相談し、しかるべき処置をとることを確認した。

⑥競技委員会

平成7年度を目途に、アンダーハンディキャップ競技を主催することにした。
具体案については、競技委員会、ハンディキャップ委員会より選任された委員にて実行委員会を設け、検討を続けることとした。

⑦ハンディキャップ委員会

KGAグリーンシステム(大型コンピュータによるハンディキャップ査定システム)の再構築を行い、ほぼ完璧なシステムが完成した。
(KGAニュースNo45参照)

以上をもって、議題審議を終了、細川議長14時30分閉会を宣した。

③創立60周年記念事業、及び行事の件

平成7年は、連盟創立60周年にあたる(昭和10年6月7日創立)ため、記念事業、行事を行うこととした。具体案については、総務委員会が担当し、企画立案する。また費用については、特別事業積立金より充当する。

④棚倉田舎俱楽部他5俱楽部退会の件

KGA所轄1都10県以外の次記加盟5俱楽部についてはJGAの決定にしたがい退会を勧奨することとした。吾妻高原ゴルフクラブ、白河高原カントリークラブ、棚倉田舎俱楽部、民報コース(以上福島県、退会届受理済)

小樽カントリー俱楽部

⑤真里谷カントリー俱楽部の件
平成4年3月会社更生法の適用を申請された真里谷カントリー俱楽部

馬、吉田、吉岡、吉澤各理事
岩本監事

細川理事長、議事席につき開会を宣し、順次議題審議を行った。

— 討議及び決議事項 —

1. 平成6年度分科委員選任の件

議長より、今年度は役員、理事任期中であり、分科委員長も留任とする提案がなされ、これを可決、次記の諸氏が選任された。

総務委員会委員長 中井 文治
財務委員会委員長 松浦 均
競技委員会委員長 尾閔 秀夫
ハンディキャップ委員会 岩本監事
コース・レート委員会委員長 新井 安寿
月例競技委員会委員長 斎藤文志郎
ジュニア育成委員会委員長 紅露 昭通
広報委員会委員長 内田 盛雄
税対策委員会委員長 小宮山義孝
グリーン委員会委員長 古賀 始
コース選定委員会委員長 鍋島 直要

2. 平成6年度分科委員選任の件

議長より選任は委員長会議に一任することが提案され、これを承認した。

3. (財)日本ゴルフ協会平成6年度分科委員候補選任の件
議長より、選任は理事長、副理事長一任とする提案がなされこれを承認、候補者名簿を平成6年2月25日のJGA理事会に提出することとした。

4. 後援競技承認の件

平成6年2月22日現在、後援申請のあった、次記競技の後援を承認した。

・「第15回 東日本高等学校ゴルフ選手権大会・中学生大会
兼1993年度関東高等学校新人戦」
・「第14回 東日本パブリックアマチュアゴルフ選手権大会」
・「第13回 茨城県社会人アマチュアゴルフ選手権大会」
・「'94 神奈川県アマチュアゴルフ選手権大会」
・「第3回 栃木県ジュニアゴルフ選

平成6年度 第1回理事会議事録

日 時 平成6年2月22日(火) 12時45分
場 所 ホテルニューオータニ
翠鳳の間
出席者 細川理事長
中井、古賀、松浦各副理事長
相山、福田、古茶、小宮山、松野、密沢、鍋島、斎藤、滝沢、田中、内田、渡邊各常務理事
新井、海老原、福嶋、平山、広中、人見、神場、河西、河西、紅露、楠本、桑原、前田、中島、南学、太田、塚本、對

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

手権大会」
・「第4回 報知女子アマゴルフ俱楽部対抗選手権」

以上をもって、議事終了、細川議長13時15分閉会を宣した。

平成6年2月22日

議事録確認署名者

署名者 議長 細川謙貞（印）
〃 副理事長 中井文治（印）

平成6年度 第2回理事会議事録

日 時 平成6年4月4日（月）14時

場 所 ホテル国際観光 芙蓉の間

出席者 中井、古賀、松浦各副理事長
福田、北村、古茶、小宮山、
松野、尾関、滝沢、玉井、内田、渡邊各常務理事

新井、海老原、福田、福嶋、
平山、伊藤、神場、加藤、河尻、
紅露、楠本、桑原、前田、
中島、南学、鬼沢、大池、太田、
横山、吉田、吉岡、吉澤
各理事
岩本、緒方各監事

細川理事長欠席のため、中井副理事長
議長を務め、午後2時開会を宣した。

—討議及び決議事項—

1. 平成7年度以降の年会費について
中井副理事長より、6年度第1回常務理事会（6年4月4日正午～午後2時於ホテル国際観光）の標記の件に関する詳細な討議、審議経過が報告、説明された。

さまざまの質疑応答、討論がなされ、常務理事会において決議された。

・年会費は加盟俱楽部一律5万円とする。

・入場者割は20円とし、JGA年会費については現行通り各俱楽部負担とする。

また入場者割20円は
・KGAゴルフ振興金の名目で入場者に負担いただく。したがって、各俱楽部においてはこの旨を明示して徴収し、預かり金として処理いただく。
・剩余金については、将来の活動に備えて、積立金処理とする。
・徴収をお願いした加盟俱楽部、および支配人会への一定額の還付、及び各都県ゴルフ協会（連盟）への助成金交付も考慮する。

以上を承認した。

また、各都県においては理事各位が、責任をもって該当県において周知徹底方を計ることを確認した。そのために、同一方針、同一内容の説明、説得が不可欠であるため、事務局にて、必要な文書資料等の準備をすることとなった。

2. 企業年金について

中井副理事長より、次記報告、説明がなされ、これを承認した。

①主幹事は朝日生命保険相互会社とする。

②設立準備委員長は3副理事長協議の上、指名、委嘱する。

尚、加入は任意であり、拘束しないものであることを確認した。

以上をもって、承認事項の審議を終了、中井議長15時30分閉会を宣した。

平成6年4月4日

議事録確認署名者

署名者 中井文治（印）
〃 平山誠一（印）

平成6年度 第1回競技委員会 議事録

日 時 平成6年3月17日（木）

場 所 ダイヤモンドホテル

出席者 尾関委員長

平山、新井、山田各副委員長
安藤、土井、畠山、平田、発

知、本多、市川、上辻、片倉、
小池、国吉、松岡、本吉、中川、西村、野本、沼澤、荻島、
大久保、大島、織戸、関谷、
鈴木、竹下、田村、田辺、田中、魚本、牛込、山田、山田、
山本、山崎、矢野、吉野各委員

河西顧問

—討議及び決議事項—

1. 今年度活動方針について

尾関委員長より次記活動方針が示され、これを全員確認した。

「昨年度の競技は諸氏のご協力、ご尽力のおかげで無事、終了することができた。

今年度も一層のご協力をお願いしたい。私たち分科委員はいわば連盟を代表して加盟俱楽部及びゴルフ場関係者と接することになるわけでその言動は注目される。

自覺と矜持をもって事にあたってほしい。

関東オープンについては、6年度も国連難民救済と地域福祉団体のためのチャリティ募金を行うことが決定されており、各委員開催意義を再確認し、ご協力をお願いしたい。

また、新たに「アンダーハンディキャップ競技」開催にむけて、企画、検討を始めた。これは多くの会員、一般ゴルファーにも参加できる主催競技を実施し、国民スポーツ、生涯スポーツとして多くの爱好者が参加できる競技の新設であり、KGAの責務と考えられる。」

2. 副委員長選任の件

尾関委員長より以下の提案がなされ、全委員これを承認した。また、新任の魚本司朗氏の紹介がなされた。

「永年副委員長を務められた、新井昌男副委員長が昨年末をもって退任せられたため、後任として、平山誠一

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

第1班バイスキャップに副委員長をお願いし、野本俊夫委員に第1班バイスキャップをお願いしたい。」

3. 班編成および班長の件

別紙のとおり決定した。

4. 主催競技委員長、副委員長、担当班の件

別紙のとおり決定した。

5. 主催競技実施規定の件

関東アマチュアゴルフ選手権競技、関東女子ゴルフ選手権競技、関東俱楽部対抗競技、関東グランジニア競技について、原案どおり承認した。

6. アンダーハンディキャップ競技の件

尾関委員長より、去る平成5年12月8日に行われた、「第1回アンダーハンディキャップ競技実行小委員会 議事録」をもとに、同競技開催の目的、参加資格、開催時期、開催方法について詳細な説明がなされ、全委員これを承認した。

また、今年度も同小委員会を適宜開催し、内容についてさらに検討を重ねることとした。」

7. 競技運営読本について

事務局より以下の説明がなされ、全委員これを承認した。

「ハンディキャップ委員会発行の、「ハンディキャップ読本」が大変好評であり、俱楽部競技の運営について、同様な小冊子の発行を望む声が多い。5月発行予定で編集にあたりたい。また、新井安寿、田村圭司両氏に担当委員をお願いしたい。」

8. 競技細則の件

尾関委員長より依頼をうけ、田村ルーリング担当委員が、上記について解説を行い、全委員これを承認した。

おもな、変更箇所は以下のとおり、
・「競技特別規則」を「競技の条件」と「ローカル・ルール」に二分した。

これは、「世界共通な方式に統一する」というJGAの決定に従ったものである。

・エンベッデットボールの救済をゼネラルルールどおりとした。(同項削除)

従来の、「スルーアグリーンのどこでも」で許されていた救済を「スルーアグリーンの芝草を短く刈ってある区域」とした。

・「電磁誘導カート」の項目を追加した。
・「巻物施設」の項目の一文（自己の球と確認できた場合）を削除した。

9. 使用球の限定の件

尾関委員長より依頼をうけ、田村ルーリング担当委員が、上記について解説を行い、全委員これを承認した。

「使用球の限定、つまり、コンプレッション等の使い分けは、非常に高い技術力をもったプレーヤーのみに関係することと考え、関東オープンのみ採用し、その他の競技には採用しないこととした。」

10. 競技ルール報告書の件

尾関委員長より以下の提案がなされ、全委員これを承認した。

「昨年度は競技ルール報告書の提出が徹底されていないよう思えたが、主催競技において発生したルール上のトラブル等については、必ず報告書をルール担当小委員会に提出することを徹底したい。」

11. キャディのルール上のトラブルについて

尾関委員長より依頼をうけ、田村ルーリング担当委員が、上記について解説を行い、全委員これを承認した。

「最近、過剰サービス等による誤ったキャディ教育がゴルフ場で行われているため、キャディが関係するルール上のトラブルが非常に多くなった。しかし、すべての处置はプレーヤ自身が行うという基本理念を理解していればトラブルは起らないものと信じている。各委員にはさらなるご指導をお願いしたい。」

12. 平成6年度JGAルールの改正および新裁定について。
尾関委員長より依頼をうけ、田村ルーリング担当委員が、6新裁定および11の改定裁定の説明をおこない、全委員これを確認した。

平成6年度 第1回ハンディキャップ委員会 議事録

日 時 平成6年3月25日（金）正午

場 所 ダイヤモンドホテル 会議室

出席者 渡邊委員長

原、原田、宮元副委員長
斎藤、平山、桑原、吉澤、福田、萩原、濱崎、早川、龜田、小林、永田、成宮、西、関根、田原、寺田、八木、山田、山口、横内各委員
福田、古茶顧問

—討議及び決議事項—

討議に先立ち、渡邊委員長より新任の山口委員の紹介がなされた。

また、平成6年2月22日の総会にて規約の改正がなされ、昨年まで参与として活動されていた、支配人が委員となられた旨の報告がなされた。

1. 今年度活動方針

渡邊委員長より、今年度事業計画について机上資料をもとに詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

2. アンダーハンディキャップ競技について

渡邊委員長より、上記第1回委員会が競技委員会と合同で、12月8日開催された旨の報告がなされた。（委員は、大原慎二、永田慎一両氏）

また、詳細について事務局より報告がなされ、全委員これを承認し

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

た。

3. JGAハンディキャップ実施状況について
渡邊委員長より、第3回JGAハンディキャップアンケートの報告、ならびに最新実施状況が机上配布資料をもとにされた。

4. 新グリーンシステムについて

事務局長より、新グリーンシステムについて詳細な経過報告ならびに説明がなされた。

5. 新グリーンシステム登録会員整理中間報告について

事務局長より、関東ゴルフ連盟計算センター（スタッフ）より提出された、「登録会員整理」に関しての報告書について詳細な説明がなされ、全委員これを確認した。

6. JGAおよび各地区連盟のJGAハンディキャップ査定のグリーンシステム採用について

上記の件について、渡邊委員長ならびに事務局長より以下の報告がなされた。

「1月28日JGAハンディキャップ委員会、3月1日全国事務局長会議にて、グリーンシステムの説明会をおこない大変好評であった。

その結果、四国連盟は来る6月1日に加盟俱楽部を集め、説明会を開催することとなり、関西連盟はJGAがグリーンシステムを採用し、JGAグリーンシステムとなるのであるならば検討したいとのことであった。

また、関東学生ゴルフ連盟は、原副委員長、関根委員が担当し、「理事会等でも前向きに検討中である」との報告をうけている。

同様に、高等学校ゴルフ連盟、JGAジュニア会員も前向きに検討中である。」

この報告をうけ、福田顧問より以下の提案がなされ、全委員これを承認した。

「JGAハンディキャップ委員会、なら

びに全国事務局長会議で好評であった旨の報告は、JGA事務局よりうけている。ついては、来る3月14日のJGAハンディキャップ委員会にてその結果を再確認し、必要ならば、JGA理事会に上程したい。」

平成6年度 第1回コース・レート委員会 議事録

日 時 平成6年3月30日(水) 正午

場 所 KGA会議室

出席者 新井委員長

北村、諸戸副委員長

平本、市川、生田、前川、松岡、内藤、中川、岡田、大久保、佐久間、吉田各委員
福田顧問

—討議及び決議事項—

開会に先立ち、新井委員長のあいさつ、平本新委員の紹介がなされ、順次議題審議をおこなった。

1. 南総カントリークラブ以下2俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次回のように決定した。

(1)南総カントリークラブ・東コース ベントグリーン

バック・ティ 71.6
レギュラー・ティ 69.5
フロント・ティ 68.0

(2)箱根カントリー俱楽部（従来どうり）

ベントグリーン
バック・ティ 72.8
レギュラー・ティ 69.9

コーライグリーン バック・ティ 71.1 レギュラー・ティ 68.1

2. 3月30日現在申請中の都賀カントリー俱楽部以下15俱楽部について、査定日を以下のように決定した。

米原カントリークラブ 4月26日(火)
東千葉カントリー俱楽部 5月16日(月)

オリムピックカントリークラブ 5月20日(金)
霞台カントリークラブ 5月31日(火)
イーストヒルカントリークラブ 6月 7日(火)
那須ハイランドゴルフクラブ 6月 7日(火)
那須藤原カントリークラブ 6月 8日(水)
鳴沢ゴルフ俱楽部 6月17日(金)
笠間ゴルフ俱楽部 6月21日(火)
霞ヶ浦出島ゴルフ俱楽部 6月29日(水)
都賀カントリー俱楽部 7月12日(火)
紫雲ゴルフ俱楽部 7月27日(水)
伊香保温泉ゴルフ倶楽部 8月 3日(木)
伊香保温泉ゴルフ倶楽部 8月 4日(木)
美浦ゴルフ俱楽部 次回委員会にて決定

4. JGAコースレーティングシステム 全国統一査定実施要項書の件

JGAコースレーティングシステム 全国統一査定実施要項書について、福田顧問より詳細な説明がなされた。この説明をうけ、新井委員長より以下の提案がなされ、全委員これを確認した。

「KGAとしては、今年度も従来どおりJGAの方針にしたがって、査定をおこなうこととし、難易度査定についても従来どおり5点法にて査定をおこなうこととしたい。」

5. 東南アジア地区におけるUSGAコースレーティング・システム・セミナー報告について

中川委員が、JGA福田委員長の指名をうけ、2月27日より3月1日までの3日間、マレーシアのクアラルンプール市内、ロイヤル・セランゴー・ゴルフクラブにて同セミナーに参加した報告がなされた。詳細は以下の通り。

「11カ国93名が参加し、USGAコースレーティング・システムについてのセミナーをおこなった。内容は、同システムを如何に活用するかであり、すべて、コースレーティング・ガイドに忠実に従って行うものであった。

難易度については、地形要素から

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

挙げ、ご冥福を祈った。

また、6年度委員については現委員は留任、新委員として額賀義郎氏（船橋CC）が新任されたことが報告された。

1. 3月度競技報告及び総括

川島副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「早朝からの雪の為、スタートが1時間10分遅れの9時40分となった。悪コンディションにもかかわらず、男子70、女子76のスコアは評価できるが、下位の男女共、100ストロークを越えるスコアは参加資格のJGAハンディキャップから考えて問題がある。」

算出方法は、JGAと同一なるも、係数に幾分違いがあった。

例えは、距離が6,874ヤードで、難易度が0.3のコースでは、

JGA方式

$6874 \div 200 + 38.25 + 0.3 = 72.9$

USGA方式

$6874 \div 220 + 40.9 + 0.3 = 72.4$

となり、0.5の差が生じる。

さらに、JGAでは採用されていない、

スロープ・レーティングが指標として記されていた。」

エントリーの数は以下のとおり

開 催 日

平成6年3月14日 (月)

コ ー ス

スプリングフィールズゴルフクラブ

エントリー

132名 (男子103名、女子29名)

欠席者数

事前連絡6名 (男子5名、女子1名)

当日連絡0名

無断欠席 0名

出場者数

126名 (男子98名、女子28名)

科 判 者 0名

ミーティング室 0名

失 格 者 1名

棄 権 者 0名

判別オーフ

《男子》中野弘治 (芙蓉)

和田雅英 (東京五日市)

藤崎和典 (富士・笠間)

—討議及び決議事項—

2. 3月・4月出場資格者確認の件

HDCP処理未着の為、次回委員会にて報告。

3. 4月のテーマ

・ボールマークの修復の徹底

・ティ・グラウンド前方を横切らない

4. 競技成績による参加資格喪失規定 追加の件

競技成績による参加資格喪失規定に次記の事項を加える事を確認した。
・優勝ストロークから20ストローク以上離れた者は2回の出場停止とする。

5. 平成5年度最終ポイント取得結果 の件

別紙のとおり確認した。

6. 関東学生ゴルフ連盟推薦選手の件

関東学生ゴルフ連盟推薦の男子7名、女子7名の推薦について、慎重審議の結果、これを承認した。

平成6年度 第1回月例競技委員会 議事録

日 時 平成6年4月20日(水)12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長

山崎副委員長

平山、市川、松井、額賀、岡野、桜井、嶋田各委員

学生連盟委員

—討議及び決議事項—

1. 4月度競技報告及び総括

山崎副委員長より下記の報告及び総括がなされた。

「競技当日は快晴無風の好コンディションであった。グリーンは適度なアンジュレーションがあり、状態は極めて良好であったが、距離の長さ、ピンポジションがやや難しかった為、スコアは低調であった。

また、ボールマークの修復が徹底されていなかった為、注意を行なった。次回もボールマークの修復の徹底をテーマにする必要がある。」

エントリー数は以下のとおり

開 催 日

平成6年4月11日 (月)

平成5年度 第11回月例競技委員会 議事録

日 時 平成6年3月22日(火)12時30分

場 所 KGA会議室

出席者 斎藤委員長

山崎副委員長

平山、市川、小久保、小池、

松井、本吉、額賀、岡野、阪

田、桜井、嶋田各委員

学生連盟委員2名

—討議及び決議事項—

2. 3月・4月出場資格者確認の件

HDCP処理未着の為、次回委員会にて報告。

3. 4月のテーマ

・ボールマークの修復の徹底

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

コース
都賀カンツリー倶楽部
エントリー
143名（男子95名、女子48名）
欠席者数
事前連絡9名（男子6名、女子3名）
当日連絡5名（男子3名、女子2名）
無断欠席 0名
出場者数
129名（男子86名、女子43名）
料金者 0名
シテイング選手 0名
失格者 0名
棄権者 0名
個人ルーカ
《女子》有藤智香（日本大）
渡辺恵子（高根）
2. 4月・6月出場資格者確認の件
HDCP処理5月末の為、次回委員会にて報告。
3. 6月のテーマ
・ボールマークの修復の徹底
・ティ・グラウンド前方を横切らない

平成6年度 第1回ジュニア育成委員会 議事録

日 時 平成6年3月16日（水）14時
場 所 ダイヤモンドホテル
プラザビル201
出席者 紅露委員長
菅野、川島、本吉、大久保、
大鷲、田辺各副委員長
江本、藤巻、藤園、浜田、笠
川、川崎、桑田、増岡、松井、
松本、水野、中島、西村、沼
尾、荻原、大野、酒井、佐藤
(伊)、佐藤(辰)、志村、多々
良、山下、伊藤、堀越、田村
各委員
広瀬参与
松野顧問
—討議及び決議事項—

- 1. 今年度活動方針**
紅露委員長より次記方針が示され、これを確認した。
「1. 加盟倶楽部における「ゴルフ教室」開催
1. KGA主催 ジュニア・ゴルフスクール
1. 関東ジュニアゴルフ選手権以上を活動の3本柱とし、ジュニア・ゴルファーの指導育成にあたりたい。諸氏のご協力、ご尽力をお願いする。」
- 2. 副委員長選任の件**
委員長より3月4日の分科委員長会議において、次記の諸氏が選任されたことを報告、これを承認した。
菅野 昇、川島英雄、本吉正彌、大久保 蕃、大鷲俊朗、田辺嘉一（以上留任）
- 3. 班編成について**
別紙のように3班に分けて、スクール、競技等を担当することを確認した。
また、一般ゴルファーにKGAの存在意義を認識させるため、それ向きの企画も検討することとした。
- 4. 春季ジュニア・ゴルフスクールについて**
別紙の日程、会場において開催、各委員の分担を決めた。
今年度は、親子スクールを「セントラルゴルフクラブ」で開催することを確認した。
- 5. 夏季ジュニア・ゴルフスクールについて**
別紙の日程、会場を予定している。
今年度は「あさひケ丘カントリークラブ」において栃木県ゴルフ場協議会、栃木県ゴルフ連盟と共に開催するとの報告があった。
- 6. 関東ジュニア予選、決勝競技について**
別紙の日程、会場において行うが、具体的な実施規定等については、KGA、高ゴ連、スポニチの三者会議において、検討審議することを確認した。
- 7. その他**
内田委員長より次記報告がなされ、これを確認した。
6年度広報委員について

総会・常務理事会・理事会・分科委員会

昨年、関東オープンにおいて大好評を博した、ジュニア・ゴルフクリニックを今年度も行うことを確認した。
「1. 加盟倶楽部における「ゴルフ教室」開催
1. KGA主催 ジュニア・ゴルフスクール
1. 関東ジュニアゴルフ選手権以上を活動の3本柱とし、ジュニア・ゴルファーの指導育成にあたりたい。諸氏のご協力、ご尽力をお願いする。」

平成6年度 第1回税対策委員会 議事録

日 時 平成6年3月24日（木）正午
場 所 ダイヤモンドホテル
出席者 小宮山委員長
北村副委員長
古茶、横山、平林、小松、中
村、坂本、田原、玉置各委員
—討議及び決議事項—

- 1. 平成6年度「KGAニュース」編集方針について**
基本的に細川理事長より提案され、総会にて承認される「事業方針」に従って編集発行することを確認した。
- 2. KGAニュースNo.46企画案**
事務局案を承認した。
- 3. 「委員とキャディのための競技運営ハンドブック」について**
競技委員会と共同編集による上記ハンドブックの企画内容が、事務局より報告説明がありこれを確認した。

- 4. 「KGA60年史」編集について**
平成7年は連盟創立60周年に当たり、種々な記念事業、行事を検討中であり、その一環としての標題の件も検討されている。担当が当委員会となることは必定であり、その準備を開始することを確認した。
- 5. 競技他、取材担当分担**
別紙のとおり決定した。
- 6. その他**
内田委員長より次記報告がなされ、これを確認した。
6年度広報委員について

「6年度は役員理事任期中であり、分科委員の一部補充、交替を除き全員留任することが、過日の常務理事会、理事会において決定した。したがって、当委員会も全員留任したい。」

2. 各都県報告

各都県の還付率、交付金等について、情報交換を行った。

3. ジュニアゴルファーの免税措置について

現在ジュニアのゴルフ場利用税は申請手続きをとることによって、減税（半額）となっているが、かねてよりジュニア委員会として、当委員会及びJGA税対策等委員会に免税措置にすべく関係省庁に働きかけてほしい旨の要望があった。

これを受けて、当委員会としてJGAと連繋しながら、これまで以上の免税運動を行うことを確認した。

第1回コース選定委員会議事録

日 時 平成6年3月15日（火）正午
場 所 KGA会議室

出席者 鍋島委員長
田辺副委員長
北村、岡田、佐藤、高木各委員
—討議及び決議事項—

- 1. 平成6年度連盟主催競技開催倶楽部選定の件**
事務局作成の諸資料を参考にし、選定にあたった。
・各予選競技については、各都県支配人会に依頼する。
・決勝競技は次記倶楽部を候補とし、事務局が交渉する。
関東女子 筑波カントリークラブ
関東アマ 袖ヶ浦カントリークラブ
関東シニア 厚木駒ヶ谷カントリー倶楽部
俱楽部対抗 相模原ゴルフ・クラブ
グランドシニア 相模カントリー倶楽部
・「関東オープン」については、60周年記念大会となるので、連盟結成にかかわった社団法人の倶楽部に依頼する。
・ジュニアに関しては、ジュニア委員会に一任する。

月例競技成績表

〔平成6年度3月月例〕 3月14日（月） スプリングフィルズゴルフクラブ

| 〔男子〕 | | | | |
|------|-------|-------|-------|----|
| 順位 | 氏名 | 倶楽部 | アウトイン | 合計 |
| 1 | 藤崎 和典 | 富士・笠間 | 35 35 | 70 |
| 1 | 和田 雅英 | 東京五日市 | 35 35 | 70 |
| 1 | 中野 弘治 | 美 菲 | 33 37 | 70 |
| 4 | 和田 博 | 東京五日市 | 37 34 | 71 |
| 5 | 室状 健二 | 東 名 | 35 37 | 72 |

コースレート72.3

| 〔女子〕 | | | | |
|------|-------|-------|-------|----|
| 順位 | 氏名 | 倶楽部 | アウトイン | 合計 |
| 1 | 西門 美枝 | 紫 | 36 40 | 76 |
| 2 | 小池 水子 | 宇都宮国際 | 41 38 | 79 |
| 2 | 小川 愛 | 宇都宮国際 | 38 41 | 79 |

コースレート69.3

〔平成6年度4月月例〕 4月11日（月） 都賀カンツリー倶楽部（西・北コース）

| 〔男子〕 | | | | |
|------|-------|-------|-------|----|
| 順位 | 氏名 | 倶楽部 | アウトイン | 合計 |
| 1 | 藤崎 和典 | 富士・笠間 | 37 36 | 73 |
| 2 | 新村ヨシオ | 千 葉 | 38 37 | 75 |
| 2 | 和田 雅英 | 東京五日市 | 38 37 | 75 |
| 4 | 白 源正 | 新潟・三条 | 36 40 | 76 |
| 4 | 瀬谷富士男 | 霞ヶ浦出島 | 39 37 | 76 |
| 4 | 加藤 一彦 | 千 葉 | 39 37 | 76 |
| 4 | 吉原範比古 | 日本 大 | 39 37 | 76 |

コースレート71.5

| 〔女子〕 | | | | |
|------|-------|-------|-------|----|
| 順位 | 氏名 | 倶楽部 | アウトイン | 合計 |
| 1 | 渡辺 恵子 | 高 根 | 40 39 | 79 |
| 1 | 有藤 智香 | 日本 大 | 39 40 | 79 |
| 3 | 西門 美枝 | 紫 | 41 40 | 81 |
| 3 | 菊地あつ子 | 白 帆 | 40 41 | 81 |
| 3 | 加藤 勝栄 | 相 模 原 | 43 38 | 81 |
| 3 | 有藤 実花 | 日本 大 | 39 42 | 81 |

コースレート69.4

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟倶楽部便覧」の変更事項は次記のとおりです。訂正加筆をお願いいたします。

理事長

- 南摩城カントリークラブ
(新) 岡地 悅次 (旧) 福富 敏夫
- 千葉国際カントリークラブ
(新) 武田 清久 (旧) 山口 芳樹
- 湘南シーサイドカントリー倶楽部
(新) 亀井 善之 (旧) 平田 龍雄

倶楽部代表者

- 長岡カントリー倶楽部
(新) 木村 政雄 (旧) 青柳 幸四郎
- 佐久平カントリークラブ
(新) 三浦 大助 (旧) 相馬 三郎
(新) 高野 将弘
- 大浅間ゴルフクラブ
(新) 三野村 利壽 (旧) 山田 実
- 望月東急ゴルフクラブ
内山 敏 (旧) 石原 俊輝
- 甘楽カントリークラブ
(新) 渡邊 邦夫 (旧) 秋本 正夫
- サンコー72カントリークラブ
(新) 寺本 欣一 (旧) 小山 武
- アローエースゴルフクラブ
(新) 杉浦 弘城 (旧) 稲口 利典

- イーストウッドカントリー倶楽部
(新) 伊藤 正 (新) 森田 俊彦
- 宇都宮カントリークラブ
(新) 前田 明 (旧) 伊藤 修吉
- 南摩城カントリークラブ
(新) 岡地 悅次 (旧) 福富 敏夫
- ニューセント・アンドリュースゴルフクラブジャパン
(新) 長島 範明 (旧) 大岩 俊雄

- ゴルフ倶楽部セブンレイクス
(新) 笠井 麗資
- 入間カントリークラブ
(新) 渡辺 俊一 (旧) 赤尾 勝雄
- 千葉国際カントリークラブ
(新) 武田 清久 (旧) 山口 芳樹
- 湘南シーサイドカントリー倶楽部
(新) 亀井 善之 (旧) 平田 龍雄
(新) 立松 賢三 (旧) 岩澤 正
- 富士エースゴルフ倶楽部
(新) 遠藤 浩 (旧) 内山 价充
(旧) 田中 五郎

〔訂正〕

- 長竹カントリークラブ

- 向井 重陽 楠口 銀一
- 龍ヶ崎カントリー倶楽部
堀切 治雄 神戸 光男
- 支会人
- 紫雲ゴルフ倶楽部
(新) 長谷部 順彦 (旧) 佐藤 俊雄
- グランステージカントリークラブ 丸子コース
(新) 宮原 武彦 (旧) 片山 平
- 金砂郷カントリークラブ
(新) 鎌田 安 (旧) 小野 弘司
- 桜ゴルフクラブ
(新) 藤本 定雄 (總支配人) (旧) 深澤 利治
- サニーフィールドゴルフ倶楽部
(新) 田中 きみ (旧) 新山 誠一
- 長瀬カントリークラブ
(新) 常松 日出夫 (旧) 高島 一雄
- 御殿場ゴルフ倶楽部
(新) 服部 幸二 (旧) 藤森 泰行
- リバーエンターテイメントカントリークラブ
(新) 田中 清皓 (旧) 斎藤 正三

所在地

- 大浅間ゴルフクラブ
〒389-02 北佐久郡御代田町大字塙野400-1

東京事務所

- ゴルフ倶楽部インターナショナルエアポート
(新) 〒102 千代田区飯田橋4-9-10
細谷第二ビル2階
TEL 03(3263)5741
FAX 03(3263)5747

- サンライズカントリークラブ
(新) 〒110 台東区東上野3-14-9
フジヤビル2階
TEL FAX 従来どおり

会社名

- 御殿場ゴルフ倶楽部
(株)御殿場ゴルフ倶楽部

H D C P

- 立科芙蓉カントリー倶楽部 ●→○
- サンフィールドゴルフクラブ ▲→○
- 栃の木カントリークラブ ▲→○
- 真名子カントリークラブ ▲→○
- 金砂郷カントリークラブ ●準備中→●
- 金乃台カントリークラブ ▲→●準備中
- 美里ゴルフ倶楽部 ●準備中→○

休場日

- 龍ヶ崎カントリー倶楽部 (火) → (月) 7月4日以降

平成6年5月1日発行 KGAニュース No.46

発行所／関東ゴルフ連盟 東京都千代田区麹町2-12 CTS麹町ビル8F TEL.(03)5275-0391

発行人／細川護貞 編集／広報委員会